

国際ロータリー第2640地区

堺フェニックスロータリークラブ

SAKAI PHOENIX Rotary Club

RI pilot program participation Club

四つのテスト

～言行はこれに照らしてから～

2016 - 2017年度

地区ガバナー 福井隆一郎

会 長 仲 峯 豊

幹 事 宮前美穂子

会報 委員長 中井 昭宏

クラブ事務所

〒590-0021

堺市堺区北三国ヶ丘町1-1-16 C-17

TEL 072-227-4900

FAX 072-227-4991

例会日 毎月第1土曜日18:30～

例会場 サンスクエア堺B棟 第5会議室

HP <http://www.sakaiphoenix.com/>

Mail: sakai.phoenix.1997@gmail.com

第874回例会

平成28年7月9日

通巻824号

2016-17年度週報 No.1

2015-16年度 第1回目 例会

18:30～

サンスクエア堺棟第5会議室

開 会 点 鐘 会 長 仲 峯 豊

国 歌 斉 唱 君 が 代

ロータリーソング 奉 仕 の 理 想

お 客 様 紹 介 親睦委員長 掛 水 義 久

入 会 式 会 長 仲 峯 豊

会 長 の 時 間 会 長 仲 峯 豊

幹 事 報 告 幹 事 宮前美穂子

委 員 長 報 告

幹事就任あいさつ 幹 事 宮前美穂子

閉 会 点 鐘 会 長 仲 峯 豊

2015-16年度 次回ご案内

7月16日 クラブ研修会



「人類に奉仕するロータリー」を実現するには、自ら進んで奉仕活動に参加し、いたわりの心と聡明な頭脳を持った多くの人が参加して活動を進めていく必要があります。私たちが求めているのは、ロータリーの奉仕活動を若い会員や引退したばかりの人びと、さらに在職中の人びとにもアピールするような、柔軟なクラブです。新たなパートナーシップを求め、門戸を開いて他の団体と連携関係を結ぶことが必要です。



Rotary Serving Humanity

人類に奉仕するロータリー

2016-17年度RI会長 John F. Germ



国際ロータリー会長

John F. Germ
ジョン F. ジャーム

2016-17年度会長

CHATANOOGA ロータリークラブ所属

米国テネシー州



ジョン F. ジャーム氏は、米国空軍に4年間在籍した後、1965年に、エンジニアリングのコンサルティング会社であるChambell and Associatesに入社。現在は、同社の取締役会長です。また、Public Education FoundationとOrange Grove Center社の理事兼執行委員、Blood Assurance社の会長など、複数の団体の理事を務めています。さらに、Chattanooga State Technical Community College財団の創設者・財務長ならびにTennessee Jaycee財団の会長も務めています。

1970年にテネシー州のヤングマン・オブ・ザ・イヤー、1986年にエンジニア・オブ・ザ・イヤー、1992年にボランティア・ファンドレイザー・オブ・ザ・イヤーを受賞しました。さらに、ボーイスカウトのシルバービーバー賞、関節炎財団のサークル・オブ・ホープ賞にも輝きました。2013年に、米国政府からチャンピオン・オブ・チェンジの表彰も受けています。

1976年にロータリーに入会以来、副会長、理事、財団管理委員、副管理委員長、財団管理委員長エイド、ロータリーの2億ドルのチャレンジ委員長、RI理事会執行委員会委員、RI会長エイド、規定審議会代表議員および議長、会員増強ゾーンコーディネーター、その他多くの委員会の委員長、エリアコーディネーター、RI研修リーダー、地区ガバナーを歴任しました。

RI超私の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状、特別功労賞を受賞。ジュディ夫人とともにベネファクター、アーチ・クラフ・ソサエティ会員となっています。ご夫妻には4人の子ども、6人のお孫さんがいます。



Please welcome new Rotary International President John F. Germ, of the Rotary Club of Chattanooga, Tennessee and his wife, Judy!

会 長 仲 峯 豊



いよいよ新しい年度が始まりました。今年度のRIのテーマは「人類に奉仕するロータリー」です。RI会長のジョン・F・ジャーム氏は、クラブを通じて地域社会でロータリーとは何か、どのようなことをしている団体なのかを広く伝えていく必要性があります。今年度はたくさんの新しい会員に入会していただき、会員一人一人が大いに広報活動をしていただきたいと思います。

会員がロータリーで奉仕活動する日々の中に一つ一つの善行が会員皆様の生活を変えた地域、日本をも変えていける力があるとジョン・F・ジャームRI会長が言われています。それを踏まえ月一回の例会とクラブ研修会を大事に、大いにロータリーを楽しんでまいりたいと思います。

会員の皆様にそれぞれ何か奉仕活動に目標を立て、完遂して例会に望んで行きたいと思っています。その完遂した喜びをまたいろんな方に語って行き、どんどんロータリーを拡げて行きたいと思っています。

今年度は会員増強に皆さんのお力を頂き、クラブの拡大に拡大を遂げ地域に日本中に堺フェニックスRCここにありと言えるようなクラブにしていきたいと思います。

そして、しっかりとロータリーの基本を学んでいき、クラブ一丸となって会員皆様のご活躍に期待をしたいと思います。何卒この1年よろしくお願い致します。

幹 事 宮 前 美 穂 子



今年度も元気いっぱい頑張りますので、会員皆様のお力を何卒よろしくお願い致します。



新ロータリー年度に導入される変更

去る4月、世界各地のロータリー代表者が規定審議会に出席し、例会スケジュールと会員種類についてクラブに大幅な裁量を与える変更を採択を行いました。これらの変更は、7月1日より有効となります。

「分裂する力があまりにも強すぎるこの世界の中で、ロータリーは統合と融和を目指す力です。ロータリーは平和な世界の一つの縮図であり、諸国民がみならうべき一つのモデルとなっているのです」
(ポール・ハリス 『My Road to Rotary』 より)

写真は、昨年9月24日、ロータリーとONEによる主催で開催された「Under One Sky Chicago」イベントにて。



Be a gift to the world

世界へのプレゼントになろう



Rotary Club of Sakai Phoenix Festival

多くの方々にご参加頂き、感謝申し上げます。
ロータリーアン、ローターアクト、近大ボクシング
部の皆さん、俳優、歌手、モデル、漫才師、落
語家さんなど芸能人の皆さん、多くの方が参加
して下さいました。ありがとうございます。





THE ROTARY FOUNDATION



YEARS OF DOING GOOD IN THE WORLD

「私たちは、自分のためだけに生きるべきではありません。誰かのために“よいこと”をする喜びのために生きるべきです」

(ロータリー財団創設者 アーチ・クランプ)



2016-17年度に100歳の誕生日を迎えるロータリー財団。1世紀にわたり、世界中のロータリー会員による奉仕活動を支え、奨学金を通じて若者を支援し、ポリオ撲滅を実現に近づけてきました。

きれいな水と衛生設備の提供、疾病の予防と治療、平和と紛争解決、基本的教育の推進、経済と地域社会の発展は、いずれもロータリーが力を注いでいる分野です。これらの分野とポリオ撲滅において、ロータリー財団は重要な役割を果たしてきました。

記念イベントを地元で実施したり、メディアで紹介したりして、財団の活動成果を多くの人に伝えましょう。

100年に及ぶ財団の豊かな歴史をそれぞれの地元で祝いましょう。

地元市民を招いて特別な「ロータリーデー」を開く。このイベントは、コンサートやお祭りなど、さまざまな形で企画できます。

財団補助金プロジェクト、ロータリー平和センター、ポリオプラスを支援するための募金活動を地元で実施する。

グローバル補助金や地区補助金のプロジェクトを実施または参加する。

財団からの支援で実現したクラブや地区のプロジェクトを紹介する。

ロータリー財団のみを取り上げた例会を開く。

クラブで財団への寄付の新記録を目指す。



100周年を記念する特別寄付を行い、募金目標の達成にご協力を

歴史的な節目となるこの年度、ロータリー財団では、年次基金、恒久基金、ポリオプラス基金への寄付の合計目標を3億ドルとしました。100周年を記念する特別寄付を行い、財団の新たな1世紀の活動をご支援ください。きれいな水、疾病との闘い、貧困の緩和、平和の推進、基本的教育の推進、地域社会の経済的発展など、ロータリーはこれからも世界で支援活動を続けていきます。2016年7月1日～2017年6月30日までに寄せられた寄付のみが目標に加算されます。